

授業科目名称：ホスピタリティ演習Ⅱ（実践的教育科目） 授業コード：34004

授業科目英文名称：HospitalityⅡ

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	
前期	3	0.5	必修	
担当教員				
神田 紘介*、黒川 健児、高井 伸彦、出口 雄也、波多江 日成子（*実務経験のある教員）				
展開方法	演習			
ナンバリング	N4A302			
添付ファイル				
ホスピタリティを構成する能力	学生の授業における到達目標		評価手段・方法	評価比率
専門力				
情報収集、分析力				
コミュニケーション力	自分のコミュニケーションについて見つめ直し、改善に向けた目標を立てることができる。また、スモールグループディスカッションを通じて主体性を持って学習すると共に、研究倫理や医療人の使命感について議論が行える。		態度 レポート	10% 30%
協働・課題解決力	研究倫理、医療人としての使命感について、議論を行い、考えをまとめることができる。		態度 レポート	10% 15%
多様性理解力	研究倫理、東洋医学の考え方、医療人の使命感、薬学者による研究について関心を持ち、理解した上で、それぞれの必要性を説明できる。		態度 レポート	10% 25%
出席			受験要件	
合計			100%	

授業のねらい	「ホスピタリティ演習Ⅱ」では、①コミュニケーション、研究倫理、使命感の修得、東洋医学の考え方、薬学研究・教育者への理解、②学生の自主性と連携を通じ、コミュニケーション能力、共同・課題解決力、多様性理解力を養い、薬剤師としての資質を醸成する。					
アクティブラーニングの類型	①④⑥⑪⑫					
評価基準及び評価手段・方法の補足説明	コミュニケーション、薬剤師の使命、研究倫理、薬学研究・教育者へのキャリアパス、寄付講座（東洋医学の理解）に関して、いずれもレポートを評価する。また、スモールグループディスカッションを行う場合は参加態度も評価する。評価割合は、コミュニケーション15%、薬剤師の使命35%、研究倫理20%、薬学研究・教育者へのキャリアパス10%、寄付講座20%とする。レポートについては、ポートフォリオでフィードバックする。					
授業概要	コミュニケーションに関しては、ワークショップを行う。薬剤師の使命については、授業、SGD、ワークショップを行う。研究倫理に関しては授業形態をとり、SGDを行う。東洋医学の考え方（寄付講座）においては、東洋医学の考え方に関する説明の後、薬膳グラノーラWS等の5項目の体験学習を行う。研究教育者へのキャリアパスでは、外部講師の講演と質疑応答を行う。学習の過程において、積極的に議論を行い、学生間の学び合いを推奨する。病院または薬局において薬剤師としての実務経験を有する教員やゲストスピーカーが、その経験を活かし、講義や演習を実施する。 この授業の標準的な1コマあたりの授業外学修時間は、45分である。					
教科書・参考書・指定図書	教科書、参考書、指定図書：別に指示する。					
授業外における学修及び学生に期待すること	医療人として、コミュニケーション力、倫理観（ルールや規範）、および研究マインドを身につけ、日々の誠実な学びを通じて豊富な知識と知恵を修得することが求められる。そして、卒業後には修得した学問を実践し、社会に貢献することが重要である。本講義では、社会で活躍する多様なゲストスピーカーからこれらに必要な知識を学び、その後、仲間とディスカッションを行い、学びを深めることを目指す。また、西洋医学とは異なる東洋医学の考え方を理解し、新たな視点を養う機会も提供する。講義で得た知識と気づきを日常生活で意識し、生涯にわたり研鑽を続けることを期待する。					
授業計画	回	テーマ	授業の内容	予習・復習	到達目標番号	担当教員
	1	コミュニケーション	事前学習を行う。その後、ワークショップを通して、コミュニケーションについて学ぶ。 ゲストスピーカー：今村清楓(マイナビ)	指示に従ってレポートを提出する。	41-51	神田
	2	東洋医学の考え方（寄付講座）	東洋医学による未病改善の提案：体験内容の説明 ゲストスピーカー：平野智也(回生薬局)	予め与えられた資料を読んでおく。	2、4、13、109	出口
	3	東洋医学の考え方（寄付講座）	薬膳グラノーラWS、太極拳、お灸、ヨガ、薬草風呂作りWSの5つを体験 ゲストスピーカー：平野智也(回生薬局)	予め与えられた資料を読んでおく。	2、4、13、109	出口

	4	薬剤師の使命	医療の担い手としてのこころ構えについて学ぶ。 ゲストスピーカー：澤勢瑞城(さわせ 薬局・長崎市議会議員)	予め与えられた課題を読んでおく。指示に従ってレポートを提出する	1-3、8	神田・高井・出口・波多江
	5	薬剤師の使命	「医療の担い手としてのこころ構え」についてのスモールグループディスカッション（SGD）を行う。 ゲストスピーカー：澤勢瑞城(さわせ 薬局・長崎市議会議員)	予め与えられた課題を読んでおく。指示に従ってレポートを提出する	1-3、8	神田・高井・出口・波多江
	6	薬剤師の使命	ワークショップを通して、「薬剤師の使命」を果たすために必要な基礎力の養成方法について学ぶ。 ゲストスピーカー：今村清楓(マイナビ)	指示に従ってレポートを提出する。	1-3、8	神田
	7	研究倫理	「ヒトを対象とする研究活動に求められる態度」について学ぶ。 ゲストスピーカー：福島千鶴(長崎大学病院)	予め与えられた課題を読んでおく。指示に従ってレポートを提出する	34-37、40、83	神田・高井・出口・波多江
	8	研究倫理	「ヒトを対象とする研究活動に求められる態度」についてのスモールグループディスカッション（SGD）を行う。 ゲストスピーカー：福島千鶴(長崎大学病院)	予め与えられた課題を読んでおく。指示に従ってレポートを提出する	34-37、40、83	神田・高井・出口・波多江
	9	薬学研究・教育者へのキャリアパス	薬学研究・教育者へのキャリアパスに関する講演とディスカッション ゲストスピーカー：尾崎省吾(九大)・住谷瑛理子(東大)	指示に従ってレポートを提出する	1062, 1064	黒川・高井・出口・波多江
		※注意事項	上記の第1回～第9回は、授業の概要を示したもので、講義の順番は変更される場合があります。 ※到達目標番号と到達目標の対応は、大学HP掲載のコアカリSBO番号／項目対応表を参照してください。			